

拠点区分

黒松内つくし園法人本部

事業名：法人本部 奨学資金事業

1 事業方針

制度改正から2年が経過し、社会福祉法人が求められている多くの課題に、今年度も法人全体でサービスの質の向上と地域貢献への取り組みを継続していきます。また、法人ガバナンス強化と事業運営の透明性確保へ向けて内部監査体制を整備します。各拠点と法人本部での役割分担をさらに明確なものとして、法人統一の仕組みづくりと効率的な運営・経営を目指します。

さらに本年度は、緑ヶ丘ハイツ工事完成と緑ヶ丘老人ホームとの一体経営の開始に向けて、法人全体で丸となって取り組みます。また、ベトナム人技能実習生受け入れ元年の本年は、技能実習1号6名を雇用、次年度以降の更なる受け入れを進め、人材確保・育成を推進します。

2 今年度の重点目標

- (1) 人材確保に向けた取り組み強化をさらに進め、若年層をターゲットとした情報発信強化を行う。また、職員研修を強化し人材育成をさらに推進（ベトナム人、幹部職員の育成）。
- (2) 緑ヶ丘ハイツ完成によるスムーズな移転と運営・資金計画、緑ヶ丘老人ホームとの一体経営に向けて、施設と法人本部が情報共有しながら、法人全体で取り組む。
- (3) 各拠点の収支計画、事業運営、報酬・加算状況、財務内容を法人本部主導で進捗状況を管理。各拠点の事業内容を点検し法人事業の再編に取り組む。
- (4) 有給休暇の計画的付与とストレスチェックの継続、心の健康づくり計画に基づいた労働衛生管理を実施し、働きやすい職場環境づくりをさらに進める。
- (5) 内部監査部門により内部統制及び事業運営・経営を点検確認し、ガバナンスを強化する。
- (6) 法人本部人事・財務・総務3部門の業務内容を再構築し、法人本部と各拠点の業務分担の整理、本部体制強化・集中化をさらに推進していく。

3 予算

収入	[単位：千円]	支出	[単位：千円]
科目	予算額	科目	予算額
経常経費寄付金収入	1,300	人件費支出	3,600
雑収入	15,900	事業費支出	5,650
受取利息配当金収入	100	事務費支出	24,361
施設整備等寄付金収入	5,000	支払利息支出	360
施設整備等補助金収入	1,500	設備資金借入金元金償還金支出	2,500
積立資産取崩収入	184,490	固定資産取得支出	0
事業区分間繰入金収入	15,000	長期運営資金借入金元金償還金支出	4,530
拠点区分間長期貸付金回収収入	1,000	積立資産支出	2
拠点区分間繰入金収入	75,847	事業・拠点区分間等繰入金支出	279,100
収入合計(A)	300,137	支出合計(B)	320,103
【予算積算根拠、主な施設整備等】		予備費(C)	0
※昨年度実績・今年度事業内容を考慮して予算編成		当期資金収支差額	
・屋上防水工事等の施設整備計画の実施		① = (A) - (B) - (C)	△ 19,966
・緑ヶ丘ハイツ移転工事完成(建設積立金取崩と本部・各拠点からの繰入により工事代金支払)		前期末支払資金残高②	21,560
・地代・顧問料他の各拠点からの繰入負担実施		当期末支払資金残高①+②	1,594

4 職員数 【職員数】正職員10名(兼務) 臨時職員2名(兼務)

5 その他 施設運転資金不足時には施設に短期貸付実施(信金短期借入)。
むつみ荘に短期的に2,000万円以内の貸付予定
倶知安地区、湯の里・黒松内他貸付予定

拠点区分 児童養護施設 黒松内つくし園

1 事業方針

平成28年6月施行の児童福祉法改正を受けて、有識者による検討会が「新しい社会的養育ビジョン」を翌年8月に示した。これを受け、国は「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」を発出し、地方自治体は従来の計画を見直しするとともに、新たな計画を31年度までに策定することとなった。

北海道においても、児童養護施設の小規模化、多機能化、高機能化等に向けた中間とりまとめを31年4月に、そして6～7月のヒヤリングを経て8月中の最終とりまとめをしていくスケジュールとなっている。

2019年度は、今後10年間の当施設の規模・形態等が大きく変わる計画策定に取り組む年度になることから、情報を的確にとらえ、定員減・改築等とともに、職員の採用・育成計画等も盛り込むことなど、委員会を中心に職員と協議を重ね、早急に青写真を描いていく。

また、経営安定と労働強化の改善、職員のスキルアップ向上を図るため、利用者確保と職員確保及び職員研修を積極的に取り組むとともに、利用者のサービス向上に取り組んでいく。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- (1) 経営安定に向けた利用者確保と職員確保の取組み（労働強化の軽減、職員教育、消費税対策など）
- (2) 都道府県社会的養育推進計画の取組み（小規模化、多機能化、高機能化等の対応など）
- (3) 第三者サービス評価の受審（利用者サービスの向上など）
- (4) 権利擁護の取組み（研修会、意見箱など）

3 予算

収入	[単位：千円]	支出	[単位：千円]
科 目	予算額	科 目	予算額
児童福祉事業収入	277,770	人件費	158,120
経常経費寄付金収入	1,000	事業費	74,360
受取利息配当金収入	5	事務費	19,430
その他の収入	1,500	支払利息支出	1,186
施設整備等補助金収入	3,312	その他の支出	1,000
積立資産取崩収入	6,360	設備資金借入金元金償還支出	11,618
拠点区分間繰入金収入	0	固定資産取得支出	7,884
		ファイナンス・リース債務の返済支出	733
		積立金資産支出	3,950
		拠点区分間繰入金支出	11,156
収入合計 (A)	289,947	支出合計 (B)	289,437

【予算積算根拠、主な施設整備等】

1. 事業費は30年度の最終単価で積算
2. 本園は定員80名 職員配置区分5.0:1
民改費 本園20%・小規模6名定員20%
3. 本園(月平均65名) 小規模(月平均6名)

予 備 費 (C)	0
当期資金収支差額 ① = (A) - (B) - (C)	510
前期末支払資金残高②	54,257
当期末支払資金残高①+②	54,767

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員本園80名+小規模6名（月平均利用者数 65名/月+6名/月）

【職員数】正職員30名…年俸2名+賞与3ヶ月23名（採用予定3名含む）・賞与2ヶ月2名+55歳超3名
日給職員3名/パート職員8名（採用予定1名含む）/嘱託医1名

5 その他特記事項

※H7年度改築管理棟屋上防水工事7,884千円（積立資産取崩6,000千円）、公用車（フィット）リース更新

拠点施設名 緑ヶ丘老人ホーム

サービス区分事業所

- (1) 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業所・短期入所生活介護事業所含む）
 (2) 地域密着型通所介護事業 黒松内町ディサービスセンター
 (3) 居宅介護支援事業 黒松内つくし園居宅介護支援事業所
 (4) 訪問介護事業 黒松内つくし園ホームヘルパーステーション

1 基本方針

緑ヶ丘老人ホームは今、長い歴史の中で大きな変革の時期を迎えております。同じ高齢者施設である緑ヶ丘ハイツ（特養）と廊下で繋がることで、この環境を活かした利用者確保また、サービス機能の共有、人財面、経費面を含めた削減、何より今まで以上の手厚いサービスの向上を目指したいと思っております。一方、拠点内での在宅福祉部門の通所事業、訪問事業、居宅支援事業においては高齢者が安心して住み慣れた自宅で生活をしてゆく支援、ご家族も安心して任せられる事業所として一役を担う事を目指します。拠点全体として、地域からの一層の信用と信頼を得て黒松内町の高齢者福祉の中心的な役割を担えるよう日々研鑽努めます。

2 今年度の重点目標

- (1) 特養との併設及び高齢者施設連携に向けた効率的な運営への検討
 (2) 事故発生、身体拘束、感染症対策、食中毒防止、安全対策などリスク軽減に努める
 (3) 毎年実施しているサービス自己評価、利用者アンケート、家族アンケートを継続して実施。
 多方面からのニーズを把握し高品質サービスの提供に努める
 (4) 地域貢献を目的とした事業を継続して社会との関わりを重視する
 (5) 各事業所において健全な経営と効率的な施設整備及び修繕

3 予算

収入		[単位：千円]	支出		[単位：千円]
科 目	予算額		科 目	予算額	
介護保険事業収入	132,355		人件費	179,981	
措置事業収入	158,579		事業費	70,631	
その他の事業収入	1,580		事務費	35,679	
経常経費寄附金収入	500		その他の支出	240	
その他の収入	551		固定資産取得・ファイナンス返済等	2,157	
受取利息配当金収入	14		積立資産支出	4,230	
拠点区分間繰入金収入	1,500		拠点区分間繰入金支出	7,000	
収入合計 (A)	295,079		支出合計 (B)	299,918	
			予備費 (C)	0	
			当期資金収支差額 ① = (A) - (B) - (C)	△ 4,839	
			前期末支払資金残高②	92,667	
			当期末支払資金残高①+②	87,828	

【予算積算根拠】

- 措置費：民改費管理加算Bランク 15%
 事務費 90名/事業費 87名で算出

【主な施設整備】

- H3建物（北側）屋上防水工事 2,500千円

4 利用者及び職員数

	利用者数		職員数（ ）内は兼務		
	定員	実員	正職員	臨時	パート
緑ヶ丘老人ホーム	108	100	30	4	8
黒松内町ディサービスセンター	18	—	3	1	4
黒松内つくし園居宅介護支援事業所	—	—	1 (2)		1
黒松内つくし園ホームヘルパーステーション	—	16	1	(1)	1
計			34 (2)	5 (1)	14

5 その他特記事項

拠点区分 福祉型障害児入所施設 しりべし学園

事業名：入所（30名）・短期入所（2名）・放課後等児童ディサービス（30名）

1 基本方針

- ①利用者の特性を踏まえた個別支援の充実
- ②利用者・保護者との信頼関係の構築
- ③保護者・関係者との連携による進路対策の充実・強化
- ④職員の質の向上を目指す効果的な研修等への参加
- ⑤虐待防止に関する取組みの強化
- ⑥働きやすい職場環境の整備と適切な労働時間管理
- ⑦人材確保と人材育成及び利用者確保

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

しりべし学園

- ①児童が抱える課題を適切に把握し、最善の利益を見据えて健全な育成に取り組み、利用者増を図る
- ②コミュニケーションや各種活動を通じて、児童の隠された不安等へアプローチして安定した生活を支援する
- ③学習意欲を高められるよう適切な声掛けを行う
- ④児童への虐待防止、権利擁護の視点を踏まえた質の高いサービスを展開する
- ⑤業務効率化に向けて記録システムを導入を検討し、業務時間管理を行っていく
- ⑥利用者の主体性と安心、安全、安定性を担保できるよう取り組むとともに、福祉従事者としての高い倫理観と責任感を自覚し、利用者はもとより各種学校や広く地域の人々に信頼される職員育成
- ⑦経過的措置児童の次の生活の場を選定し、スムーズな移行につなげる

南後志児童ディサービスセンター

- ①地域との関係を強化し、児童の健全な育成に取り組む
- ②明らかになった課題を地域や学校と共有し、連携して支援を行う
- ③個別支援、小集団療育の充実と強化
- ④保護者に対する相談機能の強化
- ⑤関係機関との連携と強化
- ⑥虐待防止など職員の資質向上に向けた効果的な研修等への参加
- ⑦建物の32年度改築を目指して、関係機関との協議を進める

※各事業所共通に必要な設備・環境整備を実施していく。

3 予算

収入

【単位：千円】

科目	予算額
措置費収入	62,600
障害福祉サービス等事業収入	43,992
その他の事業収入	11,994
借入金利息補助金収入	163
経常経費寄付金収入	149
受取利息配当金収入	47
その他の収入	760
施設整備等収入	3,400
積立資産取崩収入	500
拠点区分間繰入金収入	898
サービス区分間繰入金収入	0
収入合計 (1)	124,503

支出

【単位：千円】

科目	予算額
人件費	74,676
事業費	33,140
事務費	18,004
支払利息支出	82
その他の支出	500
施設整備等支出	5,062
積立資産支出	500
拠点区分間繰入金支出	7,520
サービス区分間繰入金支出	0
支出合計 (2)	139,484

【予算積算根拠・主な施設整備等】

措置入所 16名
 契約入所 9名 　　　　　　で積算
 処遇改善加算率：6.9%

予備費 (3)	0
当期資金収支差額	▲ 14,981
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	34,673
当期末支払資金残高 ①+②	19,692

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員30名
 【職員数】正職員17名／臨時職員・パート職員 1名

5 その他特記事項

- パソコンの更新（4台）
- 児童ディサービス床張替
- 車輛の更新（リース契約）
- 軽車輛の新規リース（ディ）
- その他、収支状況とあわせ必要な修繕を行う

拠点区分 障害者支援施設 しりべし学園成人寮

事業名：生活介護（70名）・施設入所支援（70名）・短期入所（2名）

しりべしワークセンターセオス（30名）・いずみホーム（25名）

1 事業方針

- ①個別支援の充実と強化及び日中活動の再編
- ②健康維持及び高齢化対策
- ③職員の資質向上
- ④働きやすい職場環境の整備と労働時間管理
- ⑤人材確保
- ⑥個別の心身の状況に応じた作業科目の選定
- ⑦各作業の売り上げ増加と収支の適正化
- ⑧事業維持のための技術の伝承
- ⑨社会性の向上
- ⑩権利擁護支援

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

しりべし学園成人寮

- ①個別支援計画の充実を図り、利用者の特性に寄り添った支援を行う。
また、日中活動内容を見直し、より利用者の特性に応じた活動を創造する。
- ②障がいの重度化、高齢化に対応すべく、健康増進のための活動や認知症対策を講じる。
また、協力医療機関との連携や各種専門科との連携を強化し、安心出来る生活を提供する。
- ③虐待防止の意識向上や権利擁護の観点から、各種研修会に積極的に参加する。
- ④適切な業務量と時間管理を行い、残業の減少に努める。
- ⑤各種学校などの就職支援課等を訪問し、優秀な学生の獲得を目指し、人員の増員を図る。

しりべしワークセンターセオス

- ①高齢化に対応すべく、作業内容の見直しや配置への配慮を行い、楽しく作業できるよう環境を整備する。
- ②作業の売り上げ増加から工賃の向上を目指す。
- ③伝統的な作業等を維持できるよう、技術の伝承に取り組む。

いずみホーム

- ①自治会活動を通して社会性の向上や地域住民との交流を深める。
 - ②生活習慣病の早期発見、医療機関との連携を強化し、安心出来る生活を提供する。
 - ③成年後見制度の利用を推進し、権利擁護に努める。
- ※各事業所共通で必要な設備・環境整備を行っていく。

3 予算

収入		【単位：千円】
科 目	予算額	
就労支援事業収入	17,100	
障害福祉サービス事業収入	301,964	
経常経費寄附金収入	300	
受取利息配当金収入	129	
その他の収入	6,830	
施設整備等補助金収入	6,360	
積立資産取崩収入	5,000	
拠点区分間繰入金収入	3,520	
収入合計 (1)	341,203	

支出		【単位：千円】
科 目	予算額	
人件費	160,659	
事業費	76,462	
事務費	46,029	
就労支援事業支出	16,290	
支払利息支出	141	
その他の支出	1,330	
設備資金借入金元金償還支出	9,390	
固定資産取得支出等	2,860	
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,549	
積立資産支出	4,040	
拠点区分間繰入金支出	25,541	
支出合計 (2)	345,291	

【予算積算根拠・主な施設整備等】
 生介・施設入所は稼働率92%で積算
 セオス・いずみは現状維持で積算
 処遇改善加算率：6.9%
 看護職員配置加算の消滅
 栄養士減算の消滅・栄養マネジメント加算算定
 重度障害者支援Ⅱの算定

予備費 (3)	0
当期資金収支差額	△ 4,088
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	135,990
当期末支払資金残高 ①+②	131,902

4 利用者及び職員数

【利用者数】成人寮定員70名（生介・施設入所）セオス定員30名 いずみ定員25名

【職員数】正職員20名／臨時職員・パート職員15名

5 その他特記事項

- 男子棟職員室コピー機リース ■男子棟大型乾燥機の設置と乾燥室の整備
- 環境整備の事業委託 ■車両の更新（リース契約）
- その他、収支状況とあわせ必要な修繕を行う

拠点区分

緑ヶ丘ハイツ会計

サービス区分事業所

緑ヶ丘ハイツ

緑ヶ丘ハイツ短期入所生活介護事業所

1 事業方針

平成の時代から新しい年号へ移り、またハイツも10月移転改築工事完了に向けて、一層の経費削減と個室化の新しい施設に向けての準備を致します。そのため安定した経営を維持するため、利用者の確保と人材の育成に努め、働きがいのある施設を目指し運営理念に基づいた事業を執行していきます。

1. 利用者、ご家族様にご満足いただけるサービスの提供に努めます。
2. 病院、居宅支援、他施設と連携し利用者確保に努めます。
3. 人材の確保と育成に努め、研修、資格取得等の活力ある職場づくりに努めます。
4. 地域と共存し、社会に貢献できる施設として努めます。

2 今年度の重点目標(昨年度からの改正点、新規事業など)

- (1) 移転改築工事及び移転を安全に努めます。
- (2) 事業変更及び各関係機関等への手続きに努めます。
- (3) 人材の確保と育成に努めます。
- (4) 利用者の確保に努めます。
- (5) 自立支援ケアの充実に努めます。
- (6) 入所者の安全確保と災害対策に努めます。
- (7) 外国人技能実習生の育成に努めます。

3 予算

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
介護保険事業収入	320,000	人件費支出	205,500
経常経費寄附金収入	500	事業費支出	71,410
受取利息配当金収入	50	事務費支出	13,230
その他の収入	2,000	利用者負担軽減額	100
施設整備等補助金収入	3,716	設備資金借入金元金償還支出	9,285
設備資金借入金収入	332,700	固定資産取得支出	985,300
退職給付引当資産取崩収入	1,000	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,700
積立資産取崩収入	380,000	積立資産支出	4,700
拠点区分間繰入金収入	261,000	拠点区分間繰入金支出	1,624
収入合計(1)	1,300,966	支出合計(2)	1,292,849
		予備費(3)	1,000
		当期資金収支差額	7,117
		①(1)-(2)-(3)	
		前期末支払資金残高②	34,863
		当期末支払資金残高①+②	41,980

【予算積算根拠、主な施設整備等】

- 1 稼働率90%、介護度3.6で積算。
- 2 移転により室料変更
- 3 介護用備品等の更新
- 4 黒松内町より元金償還補助金 3,716千円
- 5 施設整備費(移転改築) 985,300千円見込む
- 6 整備資金借入金 332,700千円見込む
- 7 施設整備取崩、本部会計繰入金 641,000千円

4 利用者及び職員数

- 【利用者数】定員80名(平均利用者予定数72名/月)短期定員9名(平均利用者予定数4名/月)
 【職員数】正職員39名/臨時職員8名/パート13名

拠点区分

障害者支援施設

後志リハビリセンター

事業名：生活介護（50名）・施設入所支援（50名）・短期入所（3名）

1 事業方針

現在、定員50名に対し施設入所利用者47名。平均年齢61歳、平均障害程度区分は5を超え、胃ろう、ストーマ等の装着、専門科医への通院等、介護・医療業務の負担も年々増加傾向にあります。前年度は誤薬、転倒による骨折も発生しており、利用者の安全面に十分配慮して参ります。

消費税増税対応により報酬の微増が予定されていますが、介護人材の処遇が改善されることを追い風に、福祉職場でのやりがいや魅力を発信して人材確保に努めます。利用者一人ひとりのニーズや課題を把握し、適切な支援を提供できる人材を育成し、きめ細やかな支援体制の確立を図ります。

また、今年開設30周年を迎え、創設からの歴史を振り返ると共に、未来を見据え持続可能な施設運営を目指します。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- (1) 利用者の意思を尊重した個別支援計画策定会議の継続
- (2) 個別支援計画に基づいた日中活動や機能訓練、栄養管理等の総合的な支援
- (3) 利用者の擁護養護・成年後見制度の利用促進
- (4) 職員が働きやすい職場づくり
- (5) 外国人技能実習生の計画に則った実習の実施と日常生活のサポート体制の確立
- (6) 地域の方々との交流事業や地域貢献事業の実施

3 予算

収入 【単位：千円】		支出 【単位：千円】	
科目	予算額	科目	予算額
障害福祉サービス事業収入	249,150	人件費	154,500
経常経費寄附金収入	300	事業費	41,000
受取利息配当金収入	80	事務費	26,620
その他の収入	1,358	その他の支出	350
施設整備等補助金収入	0	固定資産取得支出等	4,277
積立資産取崩収入	4,192	積立資産支出	3,660
拠点区分間繰入金収入	0	拠点区分間繰入金支出	21,000
収入合計 (1)	255,080	支出合計 (2)	251,407

【予算積算根拠・主な施設整備等】

収入：利用者月平均47名・稼働率97%
処遇改善加算率：6.9%

施設整備：記録用PC入替え

予備費 (3)	2,000
当期資金収支差額	1,673
① = (1) - (2) - (3)	
前期末支払資金残高 ②	100,556
当期末支払資金残高 ①+②	102,229

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員50名（平均利用者数47名/月）

【職員数】正職員28名（うち1名出向）/臨時職員・パート職員16名/嘱託2名

5 その他特記事項

- 災害時対策に係る整備
- 介護機器、訓練器具の整備
- 収支状況とあわせ必要な修繕
- 特別養護老人ホーム緑ヶ丘ハイツ改築資金の拠出

拠点区分

認定こども園黒松内保育園

事業名 認定こども園黒松内保育園（教育・保育）、地域子育て支援センター

1 事業方針

法人の倫理綱領・定款理念・黒松内保育園基本理念と黒松内保育園の「三つの保育園」を大切にして事業を推進していきます。黒松内保育園は、平成21年に認定子ども園として黒松内町の子供たちを養護・保育する唯一の施設として再スタートして11年目を迎えます。教育保育両方の機能を生かし、一人ひとりの発達に応じた保育計画に則った質の高い保育をこれまで以上に進めると共に保育指針・幼稚園指導要領等の改訂を踏まえた、新たな保育課程・保育計画の実践を勧めます。

地域唯一の就学前施設としての役割を十分に果たせるよう関係機関と連携を深め、地域に根ざすよう努めていきます。

また、よりよい環境で保育が進められるよう、環境の整備に努めていきます。

定着してきた社会貢献・地域貢献事業の取り組みをさらに推進していきます。

2 今年度の重点目標

- (1) 保育指針・幼稚園指導要領・保育要領の改訂を踏まえた新たな保育課程のもと、保育実践を勧めていく。
- (2) 安心・安全な保育活動を行うため、日々の感染症対策を継続して行う。
- (3) 黒松内町の「もの」「ひと」「しぜん」を有効に活用した保育活動を行う。
- (4) 職員の将来設計と力量向上のための研修を行う。また、今後の保育園に必要な人材確保・育成に努める。
- (5) 黒松内町、小学校等の関係機関と連携を深め保育・教育・子育て支援に努める。
- (6) 地域貢献・社会貢献事業の取り組みを進める。
- (7) ブロック等のおもちゃを整理し、新たな品を購入する。
- (8) 前中期計画予定のエアコン等の備品交換、外壁塗装、屋根トタン部分の錆止め塗布、検討する(予備費・補正予算対応)。
- (9) メンタルヘルスケア・心の健康づくり活動を推進する。
- (10) 10月実施予定の保育料の無償化等、国の動向に対応していく。

3 予算

収入		[単位：千円]
科目	予算額	
保育事業収入	80,910	
経常経費寄付金収入	20	
受取利息配当金収入	2	
その他の収入	1,090	
拠点区分間繰入金収入		
事業活動収入計(1)	82,022	

支出		[単位：千円]
科目	予算額	
人件費支出	57,540	
事業費支出	11,610	
事務費支出	7,320	
その他の支出	866	
設備資金借入金元金償還支出	100	
退職給付引当資産支出	1,300	
拠点区分間繰入金支出	1,240	
支出合計(2)	79,976	

【予算積算根拠、主な施設整備等】

1. 園児数減少による収入減
2. 未満児14名、3歳児12名、以上児34名
(教育17名、保育43名)
3. 職員減による人件費の微減

予備費(3)	1,000
当期資金収支差額 ①=(1)-(2)-(3)	1,046

前期末支払資金残高②	27,608
当期末支払資金残高①+②	28,654

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員65名（教育15名、保育50名）

【職員数】正職員8名／臨時職員1名／パート12名／嘱託医1名

5 その他特記事項

- ・給食栄養士については、湯の里黒松内 栄養士に委託する。

拠点区分

介護老人保健施設

湯の里・黒松内

1. 基本方針

地域の皆様から信頼されるべく、今実施しております事業展開をより強固なものにしていけるよう職員一丸となり取り組み安定経営を目指します。

その中で、地域包括システムの推進を図るべく科学的裏付けに基づく介護』の考えを一人ひとりが意識し、どのようなケアが、どのような状態像の改善や変化に結びつくのかをしっかりと分析した上で、より良いケアを見つけ多様なニーズに応えられるよう質の向上していけるよう医療・介護の役割分担と連携を密にしていまいます。又、今まで以上に人材確保、育成にも力を注ぎます。

2021年には、大幅な介護保険改正が予定されており、時代の波に乗り遅れることなく情報を迅速に察知し入所系・在宅系の事業展開を適正に保てるよう努力して参ります。

2. 今年度の重点目標

- ① 定期的に経営分析し、組織機能の評価、運営、コスト等の見直し、改善に努める。
- ② 在宅生活を勧めるべく、訪問リハビリ事業を軌道に乗せる。
- ③ 業務等の充実を図るべく、日々の見直し、分析を実施する事に努める。
- ④ 地域住民、各種関係機関等と連携を密にし、地域包括ケアの中核を担う組織としての体制づくりに努る。
- ⑤ 安定したサービスの提供を図れるよう、人材確保に努める。
- ⑥ 職員の円滑なコミュニケーション、より快適な職場環境への改善等を含めた、より広い意味での心の健康づくりに取り組んでいきます。
- ⑦ 職員のスキルアップに必要な教育、研修体系を整備する。
- ⑧ 職員一人ひとりが、組織の活性化と経営に対する意識を持った行動に努める。

3. 予算

収入		【単位:千円】
科目	予算額	
介護保険事業収入	371,585	
その他の事業収入	23,349	
経常経費寄付金収入	900	
受取利息配当金	2	
その他の収入	1,400	
積立資産取崩収入	1,800	
事業区分間繰入金収入	0	
拠点区分間繰入金収入	864	
収入合計(A)	399,900	

支出		【単位:千円】
科目	予算額	
人件費支出	254,171	
事業費支出	66,560	
事務費支出	34,642	
利用者負担軽減額	2,100	
支払利息	1,080	
その他の支出	24,149	
設備資金借入金元金償還支出	12,210	
固定資産取得支出	1,925	
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,172	
退職給付引当資産支出	5,300	
拠点区分間繰入金支出	1,000	
支出合計(B)	405,309	

【内訳】(算定根拠,主な施設整備等)

1. 収入は、30年の保険改定で積算。
2. 主な施設整備
 - ①本館外壁塗装 192万円(黒松内町75%負担)
 - ②ファンコイルユニット修繕 120万円
 - ③軽自動車リース購入140万円(年額324千円)
3. 長期借入返済
 - ・福祉医療機構 1,148万円(平成37年まで)

予備費(C)	0
当期資金収支差額	
①=(A)-(B)-(C)	△ 5,409

前期末支払資金残高②	21,601
当期末支払資金残高①+②	16,192

4. 利用者及び職員数

【利用者定員】

長期入所 76名
短期入所 4名
通所リハビリ 20名

【年間利用者平均予定人員】

73名(96.1%)
2.75名(68.8%)
19名(95.0%)

【職員数】 正職員 56名 パート職員 9名 計 65名

拠点区分

倶知安地区 就労系事業等拠点

事業名 羊蹄セルフ、羊蹄、陽だまり、ありか、つくしホーム、和ーなごみー

1 事業方針 ～夢を叶える為に～【統一理念の浸透とニーズの把握を】

社会福祉法人黒松内つくし園倶知安地区は、「雇用する側と雇用される側の集まり」ではなく、「福祉事業を通じ、社会貢献の志を同じくするもの同士が役割を分担して、世の中や地域、利用者に求められている支援や介護の提供を行うと共に、商品開発を経て新たな商品を創製していく人」の集合体である。したがって、倶知安地区職員は、利用者に対し、質の高い支援及び介護のもと、利用者個人の自立・安心した生活の実現を行い、地域住民より選ばれる事業をめざさなければならない。

2 今年度の重点目標

- (1) 組織強化：倶知安地区事業所の中心事業所を検討し、地区の拠点本部を設立し、組織的な運営を目指す。事業精査を行い目の前の収益ではなく先を見据えた事業展開を行う。
- (2) 人財育成：倶知安地区全体を担う人財及び、法人の継続した運営の為に人財育成を行う。特に地区を担うことのできる中間管理職員の育成を重点的に行う。
- (3) 地域貢献事業実施強化：情報開示及び地域貢献事業に向けた取り組みを、現在行っている活動の継続性と積極的に新たな取り組みを行い、より地域に根付いた事業所として、地域住民から信頼される事業所を目指す。

3 予算

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
就労支援事業収入	41,485	人件費支出	81,683
障害福祉サービス等事業収入	108,956	事業費支出	24,742
その他の事業収入	288	事務費支出	20,355
借入利息補助収入	0	就労支援事業支出	44,420
受取利息配当金収入	8	支払利息支出	456
その他収入	342	その他の支出	160
施設整備等補助金収入	0	設備資金借入金元金償還支出	2,762
拠点区分間繰入金収入	14,600	ファイナンス債務返済	636
収入計(1)	165,679	積立資産支出	1,854
		拠点区分間長期借入金返済	1,000
		拠点区分間繰入金支出	60
【予算積算根拠、主な施設整備等】		支出合計(2)	178,128
就労支援事業収入は売上目標値を計上		予備費(3)	0
		当期資金収支差額	△ 12,449
		① = (1) - (2) - (3)	
		前期末支払資金残高②	14,440
		当期末支払資金残高①+②	1,991

4 利用者及び職員数

【利用者数】107名（就労支援系事業所の登録利用者数）

【職員数】正職員 9名／臨時職員 11名／パート 11名／アルバイト 3名

5 その他特記事項

羊蹄セルフ送迎車両（リフト付き）整備。

拠点区分

倶知安地区 在宅系事業等拠点

事業名 グループホーム絆・縁、つくしんぼ

1 事業方針 ～夢を叶える為に～【統一理念の浸透とニーズの把握を】

社会福祉法人黒松内つくし園倶知安地区は、「雇用する側と雇用される側の集まり」ではなく、「福祉事業を通じ、社会貢献の志を同じくするもの同士が役割を分担して、世の中や地域、利用者に求められている支援や介護の提供を行うと共に、商品開発経て新たな商品を創製していく人」の集合体である。したがって、倶知安地区職員は、利用者に対し、質の高い支援及び介護のもと、利用者個人の自立・安心した生活の実現を行い、地域住民より選ばれる事業をめざさなければならない。

2 今年度の重点目標

- (1) 組織強化：倶知安地区事業所の中心事業所を検討し、地区の拠点本部を設立し、組織的な運営を目指す。事業精査を行い目の前の収益ではなく先を見据えた事業展開を行う。
- (2) 人材育成：倶知安地区全体を担う人材及び、法人の継続した運営の為に人材育成を行う。特に地区を担うことのできる中間管理職員の育成を重点的に行う。
- (3) 地域貢献事業実施強化：情報開示及び地域貢献事業に向けた取り組みを、現在行っている活動の継続性と積極的に新たな取り組みを行い、より地域に根付いた事業所として、地域住民から信頼される事業所を目指す。

3 予算

収入		支出	
科目	[単位：千円] 予算額	科目	[単位：千円] 予算額
介護事業収入	78,785	人件費支出	73,820
障害福祉サービス等事業収入	3,960	事業費支出	14,518
その他の事業サービス	0	事務費支出	7,160
借入利息補助収入	0	その他の支出	477
受取利息配当金収入	3	借入金元金償還支出	240
その他の収入	504	積立資産支出	1,329
施設整備等補助金収入	0	拠点区分間繰入金支出	48
拠点区分間繰入金収入	2,060		
収入計(1)	85,312	支出合計(2)	97,592
【予算積算根拠、主な施設整備等】		予備費(3)	0
		当期資金収支差額	
		① = (1) - (2) - (3)	△ 12,280
		前期末支払資金残高②	15,733
		当期末支払資金残高①+②	3,453

4 利用者及び職員数

【利用者数】 98名（在宅支援系事業所の登録利用者数）

【職員数】 正職員 12名／臨時職員 4名／パート 12名

5 その他特記事項

拠点区分 京極地区 養護老人ホーム慶和園

事業名 : 養護老人ホーム慶和園 ・ 短期入所生活介護事業

1 事業方針

昨年度は、ご家族も含めたチームケアの実践や他部門交流研修、多種多様な働き手の受け入れなど柔軟性に富んだ取り組みから新たな展開を生み出すことができました。一方、施設経営面では利用稼働率が低迷したことを受け減収となりました。以上をふまえ、2019年度はこれまで培ってきた①地域との関係性や②人財育成③ひとが集まる組織づくり、の各取組を更に推し進め、それぞれの取組みが良い評価を得ると同時に経営面においても着実に良い結果につなげることをめざし慶和園全体の運営テーマを‘共にステップアップ’と定めます。これまでチャレンジしてきた自立支援の取組みがしっかり評価（ケアプランとの連動・加算算定など）される仕組みにつなげていきます。

2019年度 運営テーマ ‘共にステップアップ’

2 今年度の重点目標

- (1) 地域貢献…地域の社会資源の活用と参画・ご家族との関係性の深化・福祉避難所としての機能強化
- (2) 人財育成・定着…基本的スキルの修得・交流研修の定着化・次期リーダー職員の育成
- (3) ひとが集まる組織…人財確保・安心して働ける環境づくり・利用者確保・慶和園の魅力発信

3 予算

収入		支出	
科 目	[単位：千円] 予算額	科 目	[単位：千円] 予算額
老人福祉事業収入	85,486	人件費支出	45,478
介護保険収入（居宅介護）	6,637	事業費支出	24,046
寄付金収入・受取利息	340	事務費支出	25,123
その他の収入（雑収入）	231	支払利息支出	9
借入元金償還補助金収入	5,520	設備資金借入償還	5,900
借入金利息補助金収入	2	積立資産支出	1,045
受取利息配当金収入	1	拠点区分間繰入金支出	410
事業活動収入計（1）	98,217	支出合計（2）	102,011
【予算積算根拠、主な施設整備等】		予備費（3）	0
・ 養護は措置費単価Aランク積算・一般生活費98%で積算		当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	△ 3,794
・ 短期入所要介護度 稼働率67%で積算			
・ AED機器更新（リース）			
・ 電気料（LED）に伴い削減		前期末支払資金残高②	19,691
		当期末支払資金残高①+②	15,897

4 利用者及び職員数

【利用者数】養護 定員 35名 短期入所 2名（平均利用 34.5名/月）

【職員数】正職員 9名（兼務職員 2名）／臨時職員 1名／パート 5名／嘱託 1名

5 その他特記事項

拠点区分 京極地区 ユニットケア慶和園

事業名 特別養護老人ホーム ユニットケア慶和園
短期入所生活介護事業（空床利用） 障害短期入所生活介護事業（空床利用）

1 事業方針

昨年度は、ご家族も含めたチームケアの実践や他ユニット交流研修、多種多様な働き手の受け入れなど柔軟性に富んだ取り組みから新たな展開を生み出すことができました。一方、施設経営面では利用稼働率が低迷したことを受け減収となりました。以上をふまえ、2019年度はこれまで培ってきた①地域との関係性、②人財育成、③ひとが集まる組織づくりの各取組を更に推し進め、それぞれの取組が良い評価を得ると同時に経営面においても着実に良い結果につなげることをめざし慶和園全体の運営テーマを‘共にステップアップ’と定めます。これまでチャレンジしてきた個別ケアの取組がしっかり評価（ケアプランとの連動・加算算定など）される仕組みを構築します。

2019年度 運営テーマ ‘共にステップアップ’

2 今年度の重点目標

- (1) 地域貢献…ご家族との関係性の深化・地域の社会資源の活用と参画・福祉避難所としての機能強化
- (2) 人財育成・定着…ステップアップ研修継続開催・交流研修の定着化・次期リーダー職員の育成
- (3) 人が集まる組織…人財確保・安心して働ける環境づくり・利用者確保・慶和園の魅力発信

3 予算

科 目	予算額	科 目	予算額
介護保険事業収入	256,630	人件費支出	156,084
経常経費寄付金収入	600	事業費支出	45,636
受取利息配当金収入	0	事務費支出	32,945
その他の収入	50	利用者負担軽減額	2,880
積立資産取崩収入	300	支払利息・その他の支出	559
拠点区分間繰入金収入	410	設備資金借入金元金償還支出	4,588
		ファイナンス・リース債務返済支出	1,074
		積立資産支出	4,000
事業活動収入計(1)	257,990	拠点区分間繰入金支出	3,500
【予算積算根拠、主な施設整備等】		支出合計(2)	251,266
・平均介護度3.0 稼働率96%で算出		予備費(3)	
・厨房機器の更新		当期資金収支差額 ①=(1)-(2)-(3)	6,724
		前期末支払資金残高②	77,870
		当期末支払資金残高①+②	84,594

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員60名（平均利用者数 57.6名/月）

【職員数】正職員(内兼務職員1名)32名/臨時職員6名（内兼務職員2名）
パート17名（内兼務職員4名）

5 その他の特記事項

拠点区分 介護老人福祉施設 泊村特別養護老人ホームむつみ荘

事業名 特別養護老人ホーム

短期入所生活介護（空床利用型）

1 事業方針 「生活の継続と支援」^{くらし}

指定管理から7年目に入るむつみ荘は個々の生活を大切に運営されているが個別支援、生活についてはまだ弱いと感じています。

昨今の地域包括支援システムの強化の流れの中で地域整備の遅れもあり、医療、福祉の連携が不足しており、施設完結型のサービス提供となっています。

今年度はさらに地域生活を送ることに重点を置き施設での生活が泊村での生活拠点となるよう計画（ケアプラン）を見直し、運営していきます。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- 1) 24hシートの精度を上げ、ケアプランの充実に繋がります。
- 2) 人材育成は緊急の課題です。資格取得、採用を積極的に行います。
- 3) 研修の機会を増やし、職員のモチベーションを上げます。
- 4) 地域との関りを強化します。地域会、社会福祉協議会、小中学校の行事との連携、社会貢献を進めます。

3 予算

収入		[単位：千円]	支出		[単位：千円]
科目	予算額		科目	予算額	
介護保険事業収入	250,180		人件費支出	162,037	
経常経費寄付金収入	100		事業費支出	44,055	
受取利息配当金収入	1		事務費支出	37,663	
その他収入	3,494		利用者負担軽減額	3,600	
積立資産取崩収入	500		その他支出	180	
拠点区分間繰入金収入	0		設備資金借入金元金償還支出	410	
			積立資産支出	4,460	
事業活動収入計(1)	254,275		拠点区分間繰入金支出	1,500	
			支出合計(2)	253,905	
【予算積算根拠、主な施設整備等】					
平均介護度3.8			予備費(3)	0	
稼働率97%			当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	370	
			前期末支払資金残高②	33,958	
			当期末支払資金残高①+②	34,328	

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員60名（平均利用者数 58名/月・空床利用型短期2名）

【職員数】正職員31名/臨時職員7名（技能実習生2名を含む）/パート7名/嘱託0名

5 その他特記事項

拠点区分 老人福祉施設 泊村養護老人ホームむつみ荘

事業名 養護老人ホーム（30名）

泊村生活管理指導短期宿泊事業（10部屋）

1 事業方針 「生活の継続と支援」

指定管理から7年目に入るむつみ荘は個々の生活を大切に運営されているが個別支援、生活についてはまだ弱いと感じています。

昨今の地域包括支援システムの強化の流れの中で地域整備の遅れもあり、医療、福祉の連携が不足しており、施設完結型のサービス提供となっています。

今年度はさらに地域生活を送ることに重点を置き施設での生活が泊村での生活拠点となるよう支援計画を見直し、運営していきます。

養護は介護支援の必要な方が増えてきており、地域包括支援センター、居宅事業所と連携しながら特養と一体的に生活を支援できる体制を作ります。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- 1) 24hシートの精度を上げ、支援計画の充実に繋がります。
- 2) 人材育成は緊急の課題です。資格取得、採用を積極的に行います。
- 3) 研修の機会を増やし、職員のモチベーションを上げます。
- 4) 地域との関りを強化します。地域会、社会福祉協議会、小中学校の行事との連携、社会貢献を進めます。

3 予算

収入		[単位：千円]	支出		[単位：千円]
科 目	予算額		科 目	予算額	
老人福祉事業収入	80,867		人件費支出	60,904	
その他の事業収入	18,743		事業費支出	22,936	
経常寄付収入	30		事務費支出	19,469	
受取利息収入	1		その他支出	60	
その他の収入	1,601		設備資金借入金元金償還支出	210	
積立資産取崩収入	500		積立資産支出	1,440	
拠点区分間繰入金収入	0		拠点区分間繰入金支出		
事業活動収入計（1）	101,742		支出合計（2）	105,019	
【予算積算根拠、主な施設整備等】			予備費（3）		
			当期資金収支差額 ① = (1) - (2) - (3)	△ 3,277	
			前期末支払資金残高②	9,068	
			当期末支払資金残高①+②	5,791	

4 利用者及び職員数

【利用者数】定員30名（平均利用者数 30名/月）

【職員数】正職員10名/臨時職員3名/パート2名/嘱託0名

5 その他特記事項

拠点区分

緑ヶ丘ハイツ診療所会計

1 基本方針

常勤医師との連携により診療所の安定した運営に努めます。

2 今年度の重点目標（昨年度からの改正点、新規事業など）

- (1) 医療機関と連携し診療に努めます。
 (2) 感染症対策を徹底し予防・2次感染による拡大防止に努めます。

3 予算

収入	[単位：千円]
科目	予算額
医療事業収入	7,400
その他の事業収入	300
受取利息配当金収入	10
その他の収入	
収入合計(1)	7,710

支出	[単位：千円]
科目	予算額
事業費支出	3,950
事務費支出	400
事業区分間繰入金支出	15,000
拠点区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	10
支出合計(2)	19,360
予備費(3)	
当期資金収支差額	△ 11,650
①=(1)-(2)-(3)	

【予算積算根拠、主な施設整備等】

- 1 平成30年度事業実績を基に算定
 2 ハイツの移転改築のため法人本部へ繰入

前期末支払資金残高②	26,139
当期末支払資金残高①+②	14,489